

高齢者雇用 課題を巡る

岐阜市でセミナー

高齢・障害・求職者雇用
支援機構岐阜支部は28日、
高齢者活用促進セミナー
(岐阜新聞社 岐阜放送な
ど後援)を岐阜市橋本町の
じゅつろくプラザで開き、
企業の人事担当者ら約13
0人が高齢者雇用の課題な
どについて理解を深めた。



基調講演をする藤村博之教授
＝岐阜市橋本町、じゅつろく
プラザ

法政大経営大学院の藤村
博之教授が「高齢者雇用は
企業を強くする」と題して
基調講演した。少子高齢化
で65歳を超えて70歳かそれ
以上まで働き続けることが
視野に入れられている現状
を説明。「雇用の条件は、
企業が買いたいと思うよう
な能力を従業員が持つてい
ること」と述べ、「50歳代
になると企業は教育訓練に
費用を出そうとしなくなる
し、従業員も熱心でなくな
る。継続的な能力開発が課
題になる」と話した。

他にYKA(岐阜市)と
日本ガイシの担当者による
自社の事例についての発表
もあった。